

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 光和学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	はりきゅう学科	夜・通信	2,470 時間	240 時間	
	柔道整復学科	夜・通信	2,860 時間	240 時間	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	2,041 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	スポーツトレーナー学科	夜・通信	1,770 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-syllabus_jitsumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 光和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025_yakuin.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2025. 5. 26 ～ 2027. 5. 25	光和学園運営全般について コンプライアンスを含め大 所高所からの助言を受ける
非常勤	飲食店経営	2025. 5. 26 ～ 2027. 5. 25	光和学園運営および経営を 民間企業の営業の視点から の助言を受ける
非常勤	株式会社役員（2名）	2025. 5. 26 ～ 2027. 5. 25	光和学園運営および経営を 民間企業の視点からの助言 を受ける
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 光和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>カリキュラム全体における各科目の位置づけを確認し、科目ごとに教育目標と学修成果の設定を行い、学生が修得すべき具体的な知識や技術を明確にし、全授業について、各回のテーマまたは学修内容を具体的に計画する。また、学修成果の達成度を適切に測るための評価方法を設定する。</p> <p>作成したシラバスは学科毎に学科長が取りまとめる。カリキュラム並びにシラバスは、年度末までに作成完了し、作成されたカリキュラムが掲載されている学生便覧を翌年度入学生に配布し、シラバスは翌年(毎年)4月の初回授業にて学生に示し説明を行う。また、同時期に学校ホームページ内で公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校ホームページにて公表</p> <p>【はりきゅう学科】</p> <p>https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-syllabus_hari.pdf</p> <p>【柔道整復学科】</p> <p>https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-syllabus_jusei.pdf</p> <p>【介護福祉学科】</p> <p>https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-syllabus_kaigo.pdf</p> <p>【スポーツトレーナー学科】</p> <p>https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-syllabus_sports.pdf</p>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修意欲の把握は、全学生へ個人面談を実施することや、保護者会を開催することにより、学生の現況把握に努めている。</p> <p>成績の評価は、定期試験、総合学力判定試験、卒業見込み判定試験等並びに実習・実技の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。学則第 12 条（成績の評価）の規定に基づき、授業科目の成績評価は S～D の 5 段階評定にて表し、単位授与を厳格かつ適正に実施している。</p> <p>各学科の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与（又は履修認定）を実施している。</p> <p>成績については、不合格者（D 評定）に対して再試験やレポートを課すなどし、進級並びに卒業要件を満たすための機会を与えている。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、定期試験、総合学力判定試験、卒業見込み判定試験等並びに実習・実技の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行うこととし、授業科目の成績評価は S～D の 5 段階評定に表す。さらに、5 段階評定を元に、G P A により数値を算出し、学年毎の成績分布状況並びに学生毎の成績状況を把握し、客観的な指標として適切に実施している。</p> <p>(G P A の算出方法)</p> <p>学年 G P A</p> $= (\text{当該学年に評価を受けた授業科目の G P} \times \text{当該授業科目の単位数}) \text{の合計} \div \text{当該学年に評価を受けた授業科目の単位数の合計}$ <p>累積 GPA</p> $= (\text{在学全期間に評価を受けた授業科目の G P} \times \text{当該授業科目の単位数}) \text{の合計} \div \text{在学全期間評価を受けた授業科目の単位数の合計}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>学校ホームページにて公表</p> <p>https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2019pdf/GPA.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する方針として、本校は医療従事者・介護技術者及びスポーツトレーナーとして必要な知識、技術、技能及び態度を修得させ、健康な心身と豊かな人間性を養い、医療、保健、福祉及びスポーツの充実発展に貢献し得る能力を備えた者に専門士を付与する。

卒業は、所定の課程を修了した者について、卒業判定会議を踏まえ、学校長が決定する。なお、判定にあたっては、その年度に実施した定期試験、総合学力判定試験、卒業見込み判定試験及び実技能力（認定実技）審査の結果、各学生の科目ごとの年間出席授業時数を考慮する。卒業の認定に関する方針や、学修の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校ホームページにて公表

https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2019pdf/2019diploma_policy.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 光和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-bs.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-kmc.pdf
財産目録	https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-zcm.pdf
事業報告書	https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-houkoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-kcb.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【はりきゅう学科】

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	はりきゅう学科		○		-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2,695 時間 単位時間 / 単位	1,885 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	630 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	180 単位時間 / 単位	
			2,695 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90 人		60 人	0 人	6 人	7 人	13 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容については、シラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定にあたっては、学科ごとに学科長が取りまとめる。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第12条（成績の評価）の規定に基づき、定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の評価を行い、実習及び履修状況等を総合的に勘案する。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業認定は、学則第 14 条（認定の基準）に示す基準に基づき、出席時数及び学則第 12 条に定める各試験の成績評価、授業態度等及びはり・きゅう師養成施設が実施する実技能力審査に合格することとする。</p> <p>進級認定は、学則第 12 条（成績評価）に示す基準に基づき、出席時数及び操行等も踏まえる。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>個人面談、三者面談を実施するなど、常に情報を共有することとしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	2 人 (11.1%)	11 人 (61.1%)	5 人 (27.7%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>鍼灸院 鍼灸接骨院 鍼灸マッサージ院</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職説明会の開催 求人情報開示 学内就職支援担当による相談、指導</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>第 33 回はり師・きゅう師国家試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はり師：合格者 13 名（受験者数 15 名）（合格率 86.6%） ・きゅう師：合格者 13 名（受験者数 15 名）（合格率 86.6%） 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52 人	2 人	3.8 %
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学力不振 心身耗弱・疾患</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>成績不振者に対するフォローアップ（補習授業の実施）、三者面談実施及び情報の共有、学修発表会等の開催によるモチベーションの向上 等</p>		

【柔道整復学科】

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	柔道整復学科		○		-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2,860 時間 単位時間／単位	2,020 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	180 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	660 単位時間 ／単位	
			2,860 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
180 人		106 人	0 人	6 人	16 人		22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容については、シラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定にあたっては、学科ごとに学科長が取りまとめる。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第 12 条（成績の評価）の規定に基づき、定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の評価を行い、実習及び履修状況等を総合的に勘案する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定は、学則第 14 条（認定の基準）に示す基準に基づき、出席時数及び学則第 12 条に定める各試験の成績評価、授業態度等及び(財)柔道整復研修試験財団が実施する実技能力（認定実技）審査に合格することとする。 進級認定は、学則第 12 条（成績評価）に示す基準に基づき、出席時数及び操行等も踏まえる。
学修支援等
（概要） 個人面談、三者面談を実施するなど、常に情報を共有することとしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
52 人 (100%)	2 人 (3.8%)	46 人 (88.4%)	4 人 (7.6%)
(主な就職、業界等) 接骨院 鍼灸接骨院 整形外科 他			
(就職指導内容) 就職説明会の開催 求人情報開示 学内就職支援担当による相談、指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・認定実技審査 全員合格			

・第 33 回柔道整復師国家試験 柔道整復師：合格者 29 名（受験者数 50 名）（合格率 58.0%）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
130 人	6 人	4.6 %
（中途退学の主な理由） 心身耗弱 修学意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 成績不振者に対するフォローアップ（補習授業の実施）、三者面談実施及び情報の共有、学修発表会等の開催によるモチベーションの向上 等		

【介護福祉学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		教育・社会福祉課程	介護福祉学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 041 時間 単位時間 / 単位	1, 331 単位時間 / 単位	230 単位時間 / 単位	480 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2, 041 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		19 人	6 人	3 人	4 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容については、シラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定にあたっては、学科ごとに学科長が取りまとめる。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第 12 条（成績の評価）の規定に基づき、定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の評価を行い、実習及び履修状況等を総合的に勘案する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定は、学則第 14 条（認定の基準）に示す基準に基づき、出席時数及び学則第 12 条に定める各試験の成績評価、授業態度等を勘案する。 進級認定は、学則第 12 条（成績評価）に示す基準に基づき、出席時数及び操行等も踏まえる。

学修支援等
(概要) 個人面談、三者面談を実施するなど、常に情報を共有することとしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 介護福祉施設			
(就職指導内容) 合同企業説明会参加 求人情報開示 学内就職支援担当による相談、指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・第 37 回介護福祉士国家試験 介護福祉士：合格者 7 名（受験者数 7 名）（合格率 100%）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.2 %
(中途退学の主な理由) 心身耗弱・疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不振者に対するフォローアップ（補習授業の実施）、三者面談実施及び情報の共有、学修発表会等の開催によるモチベーションの向上 等		

【スポーツトレーナー学科】

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾅｰ学科		○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,025 時間 <div>単位時間 / 単位</div>	990 <div>単位時間 / 単位</div>	915 <div>単位時間 / 単位</div>	120 <div>単位時間 / 単位</div>	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2,025 <div>単位時間 / 単位</div>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		40 人	0 人	1 人	15 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容については、シラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定にあたっては、学科ごとに学科長が取りまとめる。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第 12 条（成績の評価）の規定に基づき、定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の評価を行い、実習及び履修状況等を総合的に勘案する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定は、学則第 14 条（認定の基準）に示す基準に基づき、出席時数及び学則第 12 条に定める各試験の成績評価、授業態度等を勘案する。 進級認定は、学則第 12 条（成績評価）に示す基準に基づき、出席時数及び操行等も踏まえる。
学修支援等
（概要） 個人面談、三者面談を実施するなど、常に情報を共有することとしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	1 人 (6.6%)	12 人 (80.0%)	2 人 (13.3%)
（主な就職、業界等） スポーツジム スポーツクラブ 介護施設			
（就職指導内容） 求人情報開示 2 年次の授業の中に「進路指導」の時間を設け、マナー講座や履歴書作成の練習等、就職に向けた取り組みを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） キャンパインストラクター、救急法救急員、NSCA 認定パーソナルトレーナー、健康運動実践指導者等の資格を取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	3 人	7.1 %

(中途退学の主な理由) 修学意欲低下 進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不振者に対するフォローアップ（補習授業の実施）、個人面談、三者面談実施 及び情報の共有 等

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
はりきゅう学科	400,000 円	900,000 円	400,000 円	「その他」内訳：施設設備費・実習費
柔道整復学科	500,000 円	900,000 円	400,000 円	「その他」内訳：施設設備費・実習費
介護福祉学科	200,000 円	650,000 円	250,000 円	「その他」内訳：施設設備費・実習費
スポーツトレーナー学科	200,000 円	600,000 円	400,000 円	「その他」内訳：施設設備費・実習費
修学支援（任意記載事項）				
<ul style="list-style-type: none"> ・学校独自の入学金・授業料減免サポート制度 (https://kowagakuen.ac.jp/admission/support/) ・介護福祉士修学資金貸付制度（長野県社会福祉事業団） ・専門実践教育訓練給付金 教育訓練支援給付金制度（厚生労働省） ・高等教育の修学支援制度（文部科学省） ・日本学生支援機構奨学金 				

b) 学校評価

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-jikotenken.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
<p>学校関係者評価委員は、関係業・団体、本校卒業生、高等学校関係者、保護者、地域住民などで構成する。</p> <p>学校関係者評価委員会は、設定された評価項目に基づいて学校評価を実施する。評価結果及び意見を踏まえ、学校運営と教育活動の改善策を策定、実行する。これらの取り組み状況は、学校関係者評価報告書として取りまとめ公表する。</p> <p>なお、評価項目は以下の10項目としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教育理念・目的・育成人材像等 ② 学校運営 ③ 教育活動 ④ 学修成果 ⑤ 学生支援 ⑥ 教育環境 ⑦ 学生募集と受入れ ⑧ 財務 ⑨ 法令等の遵守（内部質保証） ⑩ 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(一社) 長野県針灸師会	2023. 9. 1～2025. 8. 31	企業等委員
(公社) 長野県柔道整復師会	2023. 9. 1～2025. 8. 31	企業等委員
(公社) 長野県介護福祉士会	2023. 9. 1～2025. 8. 31	企業等委員
(株) ながでんウェルネス	2023. 9. 1～2025. 8. 31	企業等委員
同窓会	2023. 9. 1～2025. 8. 31	企業等委員
高等学校教員	2024. 9. 1～2025. 8. 31	学校有識者
保護者	2023. 9. 1～2025. 8. 31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kowagakuen.ac.jp/common/doc/info-disclosure/2025pdf/2025-kankeisha.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kowagakuen.ac.jp/about/feature/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H120320100134
学校名（〇〇大学 等）	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 光和学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		23人（ 0 ）人	25人（ 0 ）人	27人（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				27人（ 0 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（1）停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。